

石川県立加賀聖城高等学校

秋の紅葉のあまりの美しさからその名がついた錦城山。大聖寺の街並みを見下ろすことができ、市民に愛され、校舎から間近に仰ぎ見るこの山の豊かな自然を守るため、里山づくり活動に参加します。



校舎から仰ぎ見る錦城山（夏）



整備を行っている遊歩道（夏）

石川県^{さぎやま}錦^{さぎ}山^{うみ}海^{うみ}スーパースクール 加賀聖城高等学校の取組み

①錦城山東斜面に集団営巣する鷺(サギ)の観察

～郷土の豊かな^{せいぶつたよ}生物多^{うせい}様性を守るために～



◇集団営巣「さぎ山」の遠景



◇そこかしこに見られる美しい^{しらすぎ}白鷺

学校から徒歩8分。錦城山を回り込むように進み、長流亭を少し過ぎると錦城保育園があります。保育園の正面にサギの集団^{さいそうち}営巣地（さぎ山）が見えます。私たちはこのさぎ山を、季節を通して双眼鏡で観察したり、カメラで撮影したりします。この美しい鳥を、^と朱鷺のように絶滅に追いやってはなりません。郷土の豊かな生物多様性を守る活動に取り組めます。



さぎ山に見えたサギ（9月7日撮影 2年女子）

～郷土の豊かな生物多様性を守るために～



サギって・・・

- ◆サギって何を食べるの？
- ◆サギって渡り鳥？
- ◆サギってどうやって越冬するの？
- ◆サギって何で群れになるの？

つぎつぎと疑問が湧いてきます。

知ることから始まる生物多様性を守る取り組み。

撮影 6月29日 錦城保育園長 堅田光恵 先生

②錦城山の植生観察と希少植物群域の整備

～郷土の豊かな生物多様性を守るために～

私たちの学校から間近に仰ぎ見る錦城山は、古い歴史を持つ城址公園です。同時に希少植物の宝庫でもあります。この山に自生するキンランやギンランは国が指定する絶滅危惧種です。錦城山は郷土が誇る豊かな生物多様性地域。10月6日、地域の植物研究家古場田良次先生の指導を受け、このキンランが自生する区域にロープを張り来年の春、無事出芽するよう整備してきました。私たちは郷土の豊かな生物多様性を守る取組みをこれからも続けます。



美しいキンラン。これが絶滅危惧種です。5月、錦城山にこの花が咲くのです。



◇キンランの自生区域をロープで囲む。



◇地域の植物研究者木場田先生の指導のもと生物多様性の大切さを学ぶ。